

平成27年度 学校評価実施報告書

### 3 2回目評価

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定						アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	
各項目にねらいを定めた取組の計画・実施							
取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定							
	分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		
1	確かな学力	主體的に考え、表現し、伝え合える能力の育成 家庭学習の習慣化 学校図書館の有効活用	各教科の言語活動の充実 効果的指導体制の工夫 各調査の学力分析 帯タイムの活用 自主学習掲示板による児童の交流 学校だよりによる啓発活動 図書館活用の校内研究	話をよく聞いているか。授業中の発表。学習ノートを見やすく書いているか。ジョイプロ結果 家庭学習で宿題以外の学習をしているか。 本や資料を学習に使っているか。 本や資料を学習に使っている「できている」児童80%と上昇した。	話を聞く「できている」児童95% 発表81% 学習ノート84% ジョイプロは算数の正答率が下がった。 宿題以外の学習「できている」児童80%と上昇した。 本や資料を学習に使っている「できている」児童85%と大きく上昇	⇒	自己評価 評価日 平成28年3月17日 評価者・組織 学校評価委員会 分析（成果と課題） ジョイントプログラムの点数もアンケート結果も、もう少し伸ばせるのではないかと。中間層の児童をもっと伸ばせるはず。個別の学習支援も必要。漢字を書くや以前に学習した単元が定着していなかった。図形、論理的な思考も苦手。本や資料を学習に使うようになってきたの
2	豊かな心	豊かな心の育成 規範意識の育成 支え合う集団・絆づくり	朝読書の実施 道徳教育の推進 安全指導 あいさつ運動 たてわり活動 うたのタイムでの全校交流	周りの人から大切にされているか。読書の習慣が身に付いているか。 自分からあいさつができていくか。学校のきまりや社会のルールを守っているか。 他の人を思いやり、親切にしているか。	大切にされている「できている」児童98% 読書の習慣86% あいさつ「できている」児童95% 学校のきまり「できている」児童89% 思いやり、親切にしている「できている」児童89%	⇒	自己評価 評価日 平成28年3月17日 評価者・組織 学校評価委員会 分析（成果と課題） ジョイントプログラムの点数もアンケート結果も、もう少し伸ばせるのではないかと。中間層の児童をもっと伸ばせるはず。個別の学習支援も必要。漢字を書くや以前に学習した単元が定着していなかった。図形、論理的な思考も苦手。本や資料を学習に使うようになってきたの
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立 体力の向上	朝ごはんしらべによる意識改善 給食だより保健だよりによる啓発活動 部活動の取組 6年生マラソンの実施 たてわり遊びの実施	8時間以上睡眠がとれているか。毎日朝ごはんを食べているか。 外遊びやスポーツなどで毎日体を動かしているか。	睡眠「できている」児童70% 朝ごはん「できている」児童88% 体を動かしている「できている」児童86%	⇒	自己評価 評価日 平成28年3月17日 評価者・組織 学校評価委員会 分析（成果と課題） ジョイントプログラムの点数もアンケート結果も、もう少し伸ばせるのではないかと。中間層の児童をもっと伸ばせるはず。個別の学習支援も必要。漢字を書くや以前に学習した単元が定着していなかった。図形、論理的な思考も苦手。本や資料を学習に使うようになってきたの
4	独自の取組	小中一貫教育の推進 学校図書館の充実 食に関する指導の充実	4校主委会 小中公開授業への参加 図書の相互貸借 合同若手研の開催 図書活用委員会の実施 栄養教諭・専門家と連携した伝統的食文化の授業	小中合同研修会の実施内容 小中合同学校運営協議会での協議 読書の習慣が身に付いているか。本や資料を学習に使っているか。 食育授業後の児童・保護者アンケート 朝ごはんしらべ	小中合同研修会で意見を交流 小中合同の学校運営協議会 読書「できている」児童86% 食育授業後の児童・保護者のアンケート 朝ごはん調べの分析	⇒	自己評価 評価日 平成28年3月17日 評価者・組織 学校評価委員会 分析（成果と課題） ジョイントプログラムの点数もアンケート結果も、もう少し伸ばせるのではないかと。中間層の児童をもっと伸ばせるはず。個別の学習支援も必要。漢字を書くや以前に学習した単元が定着していなかった。図形、論理的な思考も苦手。本や資料を学習に使うようになってきたの
学校関係者評価							
評価日 平成28年3月17日							
評価者（いずれかに○）						学校運営協議会 学校評議員	
学校関係者評価による意見						学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策	
子どもが学校の外で地域の人とふれあったり、自分から環境のことについて調べにいくことはよいことだ。						放課後まなび教室の取組もよい体験をしているので続けていく。 ゲストティーチャーも増えてきている。 ニーズを言ってもらえれば人材探しに協力する。	

#### 4 総括・次年度の課題

学力向上のために、算数の少人数授業を引き続き行っていく。また、各学力調査の結果を生かして中間層の児童にもしっかりと力をつけるように取り組んでいく。分かりやすい授業の工夫として、ノート指導・板書指導・めあての提示とめあてに応じたまとめとふりかえりを行うことを徹底をしていく。ノート検定を継続して実施していく。また、帯タイムで行う内容を精選し、弱いところが定着するように計画的に学校体制で取り組んでいく。自主勉強については、児童の興味関心をもとにした課題や、苦手を中心とした学習を励ましながら意欲を持たせてすすめていくことで、家庭での自学自主の習慣化につなげていく。外国語活動の充実に向けた取組を工夫していく。道徳の教科化を視野に入れ、指導計画を精選し取り組んでいく。

今年度も成果があったたてわり活動は、継続して進めていく。たてわり活動もあいさつ運動も児童の主体性を引き出せるよう、児童同士のアイデアを生かした活動になるようにしていきたい。また、委員会の児童のアイデアでスポーツイベントなどを企画するようにしたい。特別活動を活性化させ、児童の自主性や課題解決能力、思いやりの心を育てていきたい。

地域の伝統文化を大切にし、引き継いでいけるように総合的な学習の時間の活動内容を精選していく。今後も地域のゲストティーチャーに協力をいたがいて、地域に愛着がもてるように、自分の考えを持って学んでいけるようにす